

第19回 一般社団法人日本介護支援専門員協会

20周年記念全国大会

2025.11.1-2 東京国際フォーラム



Japan Care Manager Association

時代を担って、次代を拓く
～つなぎたい介護支援専門員の未来～



一般社団法人 日本介護支援専門員協会

第19回 一般社団法人日本介護支援専門員協会 20周年記念全国大会

1 趣旨

当協会は、令和7年11月3日を持ちまして20周年を迎える運びとなりました。そして、設立20周年の節目に、このような全国大会を開催することができましたのも、皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

介護保険制度が2000年4月1日に開始し、要介護者等ができる限り住み慣れた地域で、最期まで尊厳をもって自立した日常生活を支援できるよう、その中核的な役割を担う介護支援専門員は、介護保険法に位置づけられた職種であり、介護保険の根幹である、「ケアマネジメント」を担う専門職として時代を担ってきました。また、当協会は、国民の健康と福祉の向上を目的として、平成17年11月3日に職能団体として設立し、介護支援専門員の資質と社会的向上の実現に向け活動をしてまいりました。

25年が経ち、少子高齢化と家族形態の変容など人口減少と将来の経済や社会の担い手の減少、社会保障制度の持続など様々な問題に直面しています。近年、地域共生社会の実現に向け、地域包括ケアシステムの深化・推進や介護保険制度の安定性・持続可能性に向け、介護支援専門員の役割も煩雑化し、役割も問われています。私たちの果たすべき職能の役割、その専門性は何かについて、他から問われるのではなく、私たち介護支援専門員自ら発信し、少子高齢化社会における次代を拓き、未来へ繋いでいかなければなりません。

今大会の企画として、介護保険制度開始から介護支援専門員の軌跡を振り返り、益々進む少子高齢化社会において、介護支援専門員が専門職として切磋琢磨し培ってきた実績と誇りを改めて発信し、共に再確認しながら、未来の介護支援専門員につなぎ、同じ介護支援専門員だからこそ分かち合える時間にしたいと切に願いを込めて、東京国際フォーラムで開催をします。また、日頃の労をねぎらって皆さんと一緒に楽しんで頂ける懇親会を企画しました。

最後に、皆様のご健勝とご発展を祈念するとともに、次代を拓く介護支援専門員にエールを送れるよう、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

2 テーマ

時代を担って、次代を拓く
～つなぎたい介護支援専門員の未来～

3 主催・協力

主催：一般社団法人日本介護支援専門員協会

協力：特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会、

一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会、

一般社団法人埼玉県介護支援専門員協会、

一般社団法人千葉県介護支援専門員協議会

4 開催日程

1日目 2025年11月1日(土) 受付 11:00～ 開始 12:00～

2日目 2025年11月2日(日) 受付 9:00～ 開始 9:30～

5 開催場所

東京国際フォーラム 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号
JR有楽町駅より徒歩1分・東京駅より徒歩5分(京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)

6 定員

会場:1,200名

※今大会は、申込完了時に発行される参加券が「参加証明書」となります

7 参加費 ※税込み

事前登録	日本介護支援専門員協会会員	10,000円
	一般(非会員・賛助会員)※1 ※2	20,000円
	学生(専門学校生・大学生・大学院生)※3	2,000円
当日	日本介護支援専門員協会会員	12,000円
	一般(非会員・賛助会員)※1 ※2	24,000円
	学生(専門学校生・大学生・大学院生)※3	2,000円

※1 賛助会員は1口につき1名まで会員価格でお申込み可能

※2 ブース出展企業は1企業1名まで会員価格でお申込み可能

※3 社会人学生を除く

8 後援 申請中、順不同

申請中

9 開催スケジュール

1日目 2025年11月1日(土)

11:00	受付開始・展示開始
12:00	開会式 開会宣言 主催者挨拶 日本介護支援専門員協会会長 来賓祝辞(予定) 厚生労働省(厚生労働大臣または老健局長)、東京都知事
12:30	基調講演「介護支援専門員の過去と未来に向けて(仮)」 講師:厚生労働省老健局長(予定)
13:30	休憩 展示コーナー見学
14:00	特別講演「介護支援専門員の未来につなぐ実践知(仮)」 講師:岡田進一氏(大阪公立大学大学院生活学部生活科学研究科 教授)
15:00	休憩 展示コーナー見学
15:00 5階	実行委員会企画プログラム 日本介護支援専門員協会 20周年スライドショー 上映(7階の休憩時間)
15:30 7階	20周年記念フォーラム 記念講演 秋山 正子氏(認定NPO 法人マギーズ東京) 最期まで地域で輝いて生ききるために ~地域を育む介護支援専門員と共に歩む~ 指定発言者 講師支援者の遺族の方
16:30	日本介護支援専門員協会 活動報告(20周年記念式典報告、調査報告)
17:30	1日目 終了
18:30	懇親会(受付開始 18:00~) 定員:200名(定員調整中)
20:30	終了

2日目 2025年11月2日(日)

9:00	受付開始・展示開始
9:30	分科会 第1分科会 家族(等への)支援等(仕事と介護の両立支援) 助言者 佐藤博樹氏(東京大学名誉教授) 第2分科会 人材確保・育成 助言者 北條憲一氏(介護労働安定センター 事務局長) 第3分科会 業務の効率化とケアマネジメント 助言者 厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課長 第4分科会 地域共生社会(地域共生社会における介護支援専門員の実践と価値) 助言者 堀田聰子氏(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授)
11:30	休憩 展示コーナー見学
12:00	ケアマネ川柳表彰式
12:30	閉会式(倫理綱領盾の引継ぎ式)
13:00	大会終了

※当日は、内容が一部変更となる可能性もございます。ご了承ください。

10 分科会内容 2025年11月2日(日)

第1分科会

テーマ	家族(等への)支援(仕事と介護の両立支援等)
趣旨	<p>介護離職は日本の超高齢社会において深刻な問題となっています。依然として家族が介護すべきという価値観が根強く残っていることや、支援体制が整わず一人で抱え込む傾向があるということが介護離職の主な原因です。家族の介護を担うことで学業や将来の選択肢が制限される「ヤングケアラー」や、親の介護が長期化し自身の生活もままならなくなる「8050(9060)問題」が浮き彫りになっている状況もあります。家族介護が抱える課題は、家族全体の生活だけでなく社会全体の持続可能性に影響を及ぼしています。こうした複雑な課題に対処するためには、地域社会全体での重層的な支援体制が不可欠であり、私たち介護支援専門員が果たす役割はますます重要度を増しています。専門的な知識と経験を活かし、家族が孤立せずに適切な支援を受けられるよう、地域の資源を活用した連携を進めていく必要があります。働きながら介護を担う人々への支援策が整備されることで、仕事と介護の両立を実現することが可能となり、社会全体を支えることに繋がっていきます。</p> <p>このような取り組みを通じて、第1分科会では、誰もが安心して暮らせる社会を実現するための具体的な方法を模索し、共に考えます。</p>
キーワード	<p>①家族(等)への支援 ②仕事と介護の両立支援 ③重層的支援体制 ④生活困窮者の支援 ⑤ヤングケアラー ⑥8050問題 ⑦孤立への支援 ⑧他制度との連携 ⑨「等(支援者)」の定義づけ 関係の多様性への対応 ⑩社会資源の発掘・利活用 等</p>

第2分科会

テーマ	人材確保・育成
趣旨	<p>介護支援専門員の高齢化・人材不足が叫ばれる中、介護支援専門員の平均年齢は53歳となり、4人に1人は60歳以上となっています。今後引退していく介護支援専門員が増えていく中で、事業所の人材確保は更に難しくなっていくものと思われます。令和6年度からケアマネジメントに係る諸課題に関する検討会が発足し、引き続き「業務のあり方」「法定研修のあり方」等検討がなされています。人材確保のポイントは「賃金」「労働環境」「やりがい」であり、多面的視点にたって対応することが重要です。また、やりがいが削がれることがないように、現役世代の人材確保・育成とともに、次世代を担う未来の介護支援専門員を目指す人材の確保も重要な課題となります。</p> <p>第2分科会では、効果的な人材確保・育成の実践事例と共に、次世代に向けた「介護支援専門員の未来像」について模索していきたいと考えています。</p>
キーワード	<p>①効果的な人材育成の方法(OffJT・OJT・SDS) ②法定内・外研修 ③スーパービジョン ④シャドーワーク対策 ⑤対人援助職としての学び ⑥働き方改革(労務管理) ⑦ハラスメント対策(カスタマーハラスメント等) ⑧職場環境分析 ⑨介護支援専門員の魅力・未来像(やりがい) ⑩次世代へのメッセージ 等</p>

第3分科会

テーマ	業務効率化とケアマネジメント
趣旨	<p>1947年に4.54であった合計特殊出生率は2023年には1.20まで低下しています。日本の人口は減少を続け、とりわけ生産年齢人口の減少の加速が予測されます。その中で業務の効率化は介護業界のみならず日本の全産業的に求められる重要なミッションであると言えます。業務効率化の柱としてICT化の推進が推奨され、保険給付においても国の意思を感じることができます。しかし、実際の現場においてICT化の推進には、法人・事業所単位において濃淡を感じています。ではその背景には何があるのか？合わせて考えなければならないことは“業務効率化”の本質ではないか？ICT化が目的・目標となっていないか？</p> <p>あくまでも“業務効率化”は手段でありICT化もまた業務効率化の手段です。では私たちは何のために業務効率化を行うのか？第3分科会では業務効率化の具体的な事例に触れながらと業務効率化の本質について検討をしていきたいと考えています。</p>
キーワード	<p>①業務効率化の実践事例(現場での事例) ②ICT化推進に関する濃淡の背景 ③介護支援専門員とAI「人」だからこそできること ④業務効率化の本質 効率化の目的(質の向上・担保)、人としての役割 ⑤ICT化からDX化へ(DX時代に備える) ⑥多職種連携 ⑦介護情報基盤システム(Life、ケアプランデータ連携システム) ⑧Narrative Based Care ⑨生産性向上 等</p>

第4分科会

テーマ	地域共生社会(地域共生社会における介護支援専門員の実践と価値)
趣旨	<p>人口構造や社会経済状況の変化を踏まえ、「地域包括ケアシステムの深化・推進」「自立支援・重度化防止に向けた対応」「良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり」「制度の安定性・持続可能性の確保」を基本的な視点として、介護報酬改定が行われました。「地域包括ケアシステムの深化・推進」において認知症の方や単身高齢者、医療ニーズが高い中重度の高齢者を含め、質の高いケアマネジメントや必要なサービスが切れ目なく提供されるよう、地域の実情に応じた柔軟かつ効率的な取組を推進することが求められています。</p> <p>生きづらさが身近なものとなり従来の社会保障のアプローチでは対応できない状況が生まれています。制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すもの「地域共生社会」の実現を目指します。第4分科会では全国の皆さまと介護支援専門員の実践と価値をみつめたいと思います。</p>
キーワード	<p>①質の高い公正中立なケアマネジメント ②認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる支援 ③地域の実情に応じた柔軟な取組 ④地域共生社会における医療と介護の連携 ⑤フレイル予防と地域づくり(住民・自治体による地域共生社会) ⑥在宅における医療ニーズへの対応 ⑦高齢者施設等における医療ニーズへの対応 ⑧全ての世代にとって安心できる制度の構築を目指した支援 ⑨地域づくりと介護支援専門員(地域にどう向き合うか) ⑩職能団体「日本介護支援専門員協会」実践報告、あゆみ 等</p>

11 演題発表の応募方法

① エントリー

「第 19 回日本介護支援専門員協会全国大会 20 周年記念全国大会」のホームページにアクセスし、専用のフォームから必要事項を入力しエントリーいただきます。

エントリー期間 2025 年3月 19 日(水) ~ 2025 年5月 30 日(金)

【大会ホームページ】 <https://www.jcma.or.jp/?p=787043>



【大会 HP QRコード】

日本介護支援専門員協会 20周年

検索

エントリー後、詳細事項について大会事務局よりメールにてご連絡します。

※原則としてメールでの対応(抄録原稿データの送付含む)とさせていただきます。

② 抄録原稿の作成と提出

事務局からの連絡を受け次第、抄録原稿の作成にとりかかって下さい。

※抄録原稿は、エントリー前にも作成できますが、その際には、指定様式に沿って、作成してください。

※指定様式は、全国大会専用ホームページ上からダウンロードできます。

抄録原稿が完成しましたら、大会専用メールアドレスに抄録原稿を送付してください。

【メールアドレス】 soumuka@jcma.or.jp (日本協会事務局総務課)

抄録原稿提出締切日 : 2025 年6月 30 日(月)

③ 採用決定通知

抄録原稿を査読し、実行委員会にて採択の可否を決定し、結果をメールでお知らせします。

採択決定通知 最終連絡日 : 2025 年8月8日(金)

12 当日の演題発表に関する事項

(1) 全国大会参加申し込み

演題発表者は、別途、全国大会の参加申し込みをしてください。空いている時間帯は大会に参加することになります。(※本大会は参集のみです。)

(2) 事前打合せ等、詳細について

演題発表の事前打合せの日時等につきましては、大会事務局より発表者へ後日、詳細を連絡いたします。

13 懇親会の開催

大会1日目終了後(2025年11月1日 土曜日)、場所を移動し、懇親会を開催いたします。
大会参加と併せ、皆様のご参加をお待ちしております。

(1)懇親会日程等

日時：2025年11月1日(土) 18:30～ (受付開始 18:00～)

場所：東京国際フォーラム ホールD7

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

定員：200名(先着順)

※定員超過の場合、お断りさせていただくこともございます。

(2)懇親会参加費

10,000円

※キャンセルの場合、P11記載の取消料規定に準じます。

(3)懇親会参加申込方法

大会参加申し込みと併せてお申し込みください。

14 参加申し込み等

大会参加・宿泊のご案内

ご挨拶

この度は「第19回日本介護支援専門員協会20周年記念全国大会」が開催されますことを心からお慶び申し上げます。この度、全国各地より大会にご参加いただく皆様方の大会参加・宿泊等の受付・手配を担当させて頂くこととなりました。皆様方が大会のご参加に際し円滑に進行されるよう万全なお手伝いをさせていただきます。

皆様の大会の参加を心よりお待ちしております。

東武トップツアーズ株式会社 東京法人中央事業部

お申込方法・お支払等のご案内

1.大会参加・宿泊・懇親会・分科会等のお申込

お申込は大会予約システム(インターネット)からお申込とさせていただきます。

申込開始日 2025年3月19日(水)10:00～

申込締切日 2025年7月31日(木)17:00まで

振込締切日 2025年8月7日(木)

※本大会は参集のみの開催です(Web参加はありません)。

○インターネットでのお申込について

お申込は下記ホームページよりお願いします。

「第19回日本介護支援専門員協会 20周年記念大会」参加受付システム
https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/jcma_2025tokyo/



○お申込方法

登録方法につきましては前項 URL よりご確認くださいながらお申込みください。

※上記サイトから参加受付・お支払い・請求書&領収書の発行まで可能です。

原則、こちらのサイトよりお申し込みください。

※インターネット環境の無い方は、個別に申込方法をご案内いたしますのでお問い合わせください。

(東武トップツアーズ株式会社 TEL:03-6908-8213)

※jcma_2025tokyo@tobutoptours.co.jp からメールを送信いたします。

迷惑メールの設定をされている場合はお手数ですが設定のご確認をお願いします。

○お支払方法

クレジット決済／銀行振込

それぞれの決済方法につきましては「支払」ページより確認いただきご登録をお願いします。

※ご入金後の参加費・懇親会費はご返金できません。くれぐれもご注意ください。

※請求書・領収書はWEB サイト上よりお客様にて発行が可能です。(領収書はお支払い完了後)

※クレジット決済の場合、支払い確定時に即時決済となりますので、WEB 請求書のご対応はしておりません。

※ご入金に際して発生する各振込手数料等はお客様ご負担となります。ご了承ください。

○お申込後の変更・取消について

お申込後の変更・取消は、専用サイト内で行ってください。

※専用サイトでのお取り消し可能期間は 7 月 31 日(木)17:00 までとなっております。それ以降はメールにてご連絡いただきますようお願いいたします。聞き違いや混乱を避けるため、お電話の受付は致しませんので予めご了承ください。

※ご入金後はサイト上で取消作業が出来かねますので、同じくメールにてご連絡くださいませ。

※ご入金後の参加費・懇親会費の返金はできません。くれぐれもご注意ください。

大会参加・懇親会のご案内 ※詳細は開催要項 P.2 をご確認ください。

大会参加 ※旅行契約に該当しません。東武トップツアーズが事務局からの依頼に基づき代行収受いたします。

○日時:2025年11月1日(土)~11月2日(日)

○場所:東京国際フォーラム(〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号)

○参加費

事前登録	日本介護支援専門員協会会員	10,000円
	一般(非会員・賛助会員)	20,000円
	学生(専門学校生・大学生・大学院生)	2,000円
当日	日本介護支援専門員協会会員	12,000円
	一般(非会員・賛助会員)	24,000円
	学生(専門学校生・大学生・大学院生)	2,000円

※お申込後、すでにお支払い済みの参加費の払い戻しは行いません。

懇親会 〈事務局からのお知らせ〉

※旅行契約に該当しません。東武トップツアーズが事務局からの依頼に基づき代行収受いたします。

○日時:2025年11月1日(土) 18:30~ (受付開始 18:00~)

○場所:東京国際フォーラム ホールD7

○参加費:10,000円



※写真の料理内容はイメージです。

宿泊プランのご案内(東武トップツアーズ株の募集型企画旅行)

○宿泊日:2025年10月31日(金)／11月1日(土) 2泊

・旅行代金はお一人様あたり1泊につき1泊朝食付き(番号5のみ素泊まり)、消費税・サービス料金を含みます。

・最少催行人員:1名

・添乗員は同行しません。必要なクーポン類をお渡しいたしますので、旅行サービス提供を受けるための手続きはお客様ご自身で行っていただきます。

【宿泊施設一覧表】

番号	ホテル名	部屋タイプ	食事条件	旅行(宿泊)代金	
				10/31(金)	11/1(土)
1	パールホテル茅場町 ※連泊のみお申込可能	シングル	1泊朝食付	2泊で 31,000円	
2	銀座キャピタルホテル 茜	シングル	1泊朝食付	15,500円	16,500円
3	ダイヤモンドホテル	シングル	1泊朝食付	16,500円	19,800円
4	西鉄イン日本橋	シングル	1泊朝食付	18,150円	18,150円
5	トーセイホテル ココネ神田	シングル	素泊まり	18,900円	21,100円
6	the b 水道橋	シングル	1泊朝食付	22,200円	23,300円

※全ホテルとも、禁煙、バス・トイレ付です。

※「パールホテル茅場町」については、連泊プランとなっております。(2泊目の客室清掃無し)

<アクセスなど>

① パールホテル茅場町

〒104-0033 東京都中央区新川 1-2-5
東西線、日比谷線「茅場町」駅から徒歩 2 分
半蔵門線「水天宮前」駅から徒歩 7 分

② 銀座キャピタルホテル 茜

〒104-0045 東京都中央区築地 3-1-5
日比谷線「築地」駅から徒歩 1 分
有楽町線「新富町」駅から徒歩 1 分

③ ダイヤモンドホテル

〒102-0083 東京都千代田区麴町 1-10-3
半蔵門線「半蔵門」駅から徒歩 1 分
有楽町線「麴町」駅から徒歩 7 分

④ 西鉄イン日本橋

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町 15-18
都営浅草線・日比谷線「人形町」駅から徒歩 4 分
銀座線・半蔵門線「三越前」駅から徒歩 6 分

⑤ トーセイホテル ココネ神田

〒101-0047 東京都千代田区内神田 3 丁目 2-10
JR「神田」駅から徒歩 3 分
銀座線「神田」駅から徒歩 6 分

⑥ the b 水道橋

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-25-27
三田線「水道橋」駅から徒歩 3 分
JR「水道橋」駅から徒歩 7 分

【 会場アクセスについて 】

東京国際フォーラム

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5-1

- ・JR「有楽町」駅から徒歩 1 分
- ・JR「東京」駅から徒歩 5 分(京葉線東京駅と B1 地下コンコースにて連絡)
- ・有楽町線「有楽町」駅(B1 地下コンコースにて連絡)
- ・千代田線「二重橋前」駅から徒歩 5 分/「日比谷」駅から徒歩7分
- ・丸ノ内線「銀座」駅から徒歩 5 分
- ・銀座線「銀座」駅から徒歩 7 分/京橋駅から徒歩7分
- ・三田線「日比谷」駅から徒歩 5 分

○お申込・ご入金について

下記専用サイトにてお申込みください。

(URL: https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/jcma_2025tokyo/)

期限までにお振込をお願い致します。各振込手数料等はおお客様ご負担となります。ご了承下さい。

※ご利用いただけるお支払い方法について

専用サイト内でのクレジットカード決済・銀行振込

請求書・領収書は WEB サイト上よりお客様にて発行が可能です。

宿泊プランお申込み期限:2025年7月31日(木)17:00 まで

宿泊プランご入金期限:2025年8月7日(木)まで(旅行代金全額をご入金ください)

※先着順での受付とさせていただきます。お申込みいただいた時点で既に満室の場合もございます。

あらかじめご了承ください。

※別紙の旅行条件書を事前にご確認の上、お申込下さい。

○お申込後の変更・取消について

・お申込後の変更・取消は、専用サイト内で行ってください。

※専用サイトでのお取り消し可能期間は 7 月 31 日(木)17:00 までとなっております。それ以降はメールにてご連絡いただきますようお願いいたします。聞き違いや混乱を避けるため、お電話の受付は致しませんので予めご了承ください。

※ご入金後はサイト上で取消作業が出来かねますので、同じくメールにてご連絡くださいませ。

・取消日とはお客様が当社の営業日・営業時間内にお申し出いただいた日時とさせていただきます。(営業時間外のお申し出については、翌営業日の取扱いとなります。)

○宿泊取消料

お客様はいつでも取消料をお支払いいただくことにより契約を解除できます。

契約成立後に解除される場合は、1泊ごとに下記の取消料を申し受けます。

取消日		取消料
旅行開始日の前日から 起算してさかのぼって	20 日目から 8 日目までの解除	旅行代金の 20%
	7 日目から 2 日目までの解除	旅行代金の 30%
旅行開始日前日の解除		旅行代金の 40%
旅行開始日当日の解除		旅行代金の 50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加		旅行代金の 100%

※11 月 1 日(土)は支店休業日にあたるため、変更・取消は直接宿泊施設までお知らせください。ご宿泊当日 12 時まで取消の連絡がない場合は、無連絡不参加として取り扱いをし、100%の取消料を申し受けます。

※パールホテル茅場町は申込泊数分(2泊)が1つの募集型企画旅行となりますので、契約成立後に解除される場合は合計旅行代金に対し、以下の取消料を申し受けます。また、1泊のみのお取消はできかねますので、予めご了承ください。

個人情報について

※個人情報の取扱いについて

旅行申し込みの際に提出頂いた個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただく他、お客様がお申込みいただいた旅行において運送、宿泊機関、手配代行者等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続き、並びに大会運営に必要な範囲内で、当社および大会事務局と共同利用させていただきます。

15 問合わせ先等

【大会参加・宿泊申込み等のお問い合わせ】

《旅行企画・実施》

東武トップツアーズ株式会社 東京法人中央事業部

観光庁長官登録旅行業第 38 号／一般社団法人日本旅行業協会正会員／ボンド保証会員

〒108-0075 東京都港区港南 1-8-15 Wビル 18 階

TEL:03-6908-8213 FAX:03-6908-8027

E-mail: jcma_2025tokyo@tobutoptours.co.jp

営業時間:月曜日～金曜日 9:30～17:30 (定休日:土・日・祝祭日)

担当:高橋・足立

総合旅行業務取扱管理者:清成 敦彦



旅行業公正取引
協議会 会員



【大会運営等・演題登録/発表に関するお問い合わせ】

一般社団法人日本介護支援専門員協会

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-11 金子ビル2階

TEL:03-3518-0777 FAX:03-3518-0778

E-mail: soumuka@jcma.or.jp

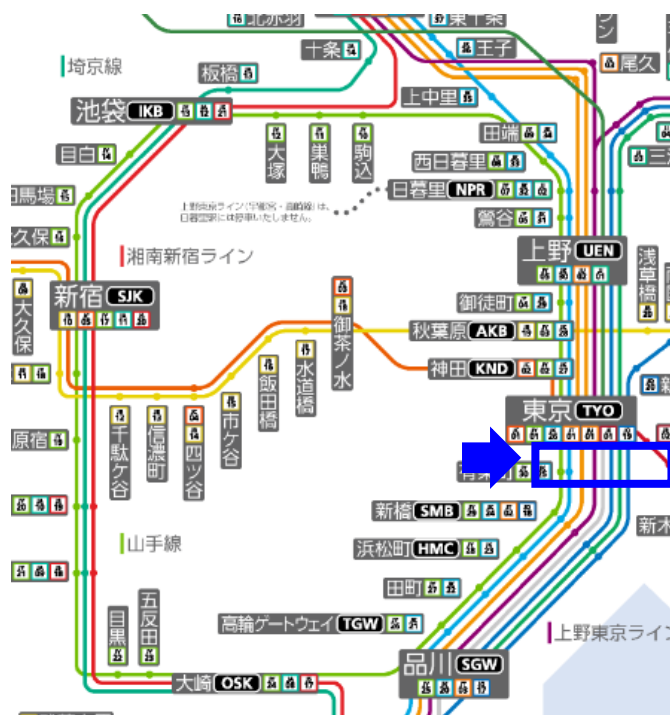
【客国 25-025】

〈会場までのアクセス〉

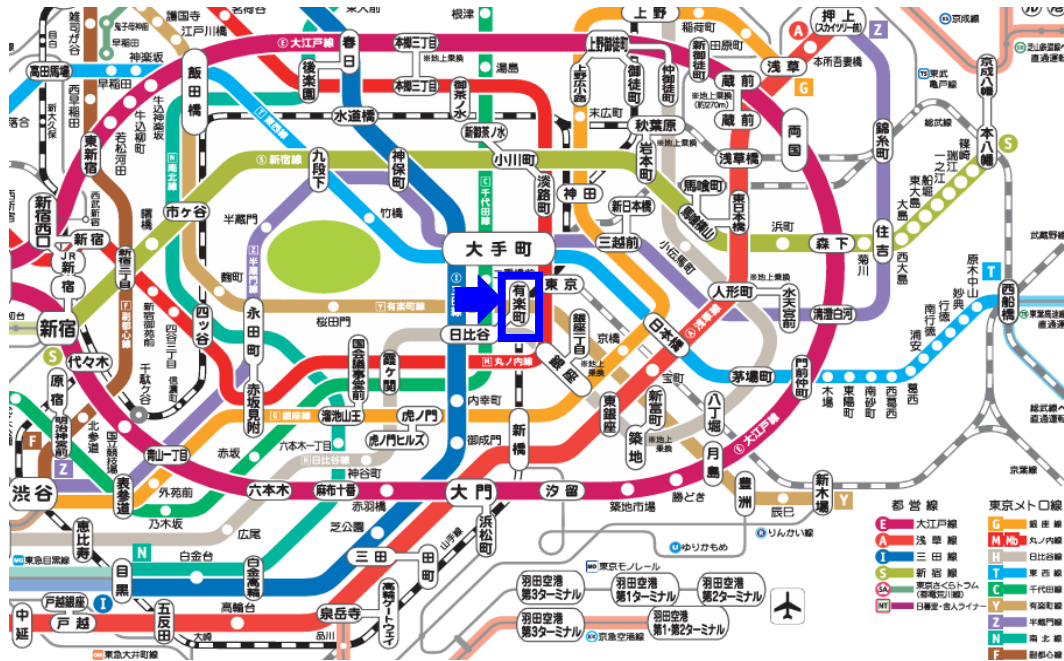
電車をご利用の場合

JR 線 有楽町駅より徒歩 1 分

東京駅より徒歩 5 分 (京葉線東京駅と B1F 地下コンコースにて連絡)



- 地下鉄 有楽町線 : 有楽町駅(B1F 地下コンコースにて連絡)
- 千代田線 : 二重橋前駅より徒歩 5分/日比谷駅より徒歩 7分
- 丸ノ内線 : 銀座駅より徒歩 5分
- 銀座線 : 銀座駅より徒歩 7分/京橋駅より徒歩 7分
- 三田線 : 日比谷駅より徒歩 5分



飛行機をご利用の場合



成田空港から
 リムジンバス 東京駅まで 80~90分
 JR 成田エクスプレス 東京駅まで 53分

羽田空港から
 モノレール浜松町駅まで 23分
 JR 浜松町駅より有楽町駅まで 4分

JR有楽町駅からホールB7・B5のアクセス

JR有楽町駅「国際フォーラム口」へ出ます。改札を出たら右折、前の横断歩道を渡ります。左がホール棟、右がガラス棟です。ホールB7/ホールB5までの行き方は以下の2通りあります。

第1のルート：

そのまま直進し、地上広場の中程で左折。そのまま直進し、歩道に出て右折すると右がホール棟Bブロックの入口（円柱形ドア）です。

第2のルート：

そのまま直進し、地上広場の中程を過ぎたところに「ホールB5、7」のサイン（看板）が設置されています。ここを左折すると、ホール棟Bブロックの入口です。

ホールB7はBブロック7階、ホールB5はBブロック5階です。



一般社団法人 日本介護支援専門員協会

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-11 金子ビル2階

TEL:03-3518-0778 FAX:03-3518-0778

MAIL:soumuka@jcma.or.jp (事務局)